



秘書課 ☎66♦1161

昭和29年4月1日、蒲郡町、三谷町、塩津村の合併により誕生した蒲郡市は、来年60歳を迎えます。さまざまな紆余曲折を経て県下15番目の市として誕生した蒲郡市。市役所は、蒲郡町の中央公民館（現在の蒲郡郵便局の位置）を改造し、昭和36年に現在の市庁舎が建設されるまでの仮住まいとして使用されました。

初代市長を選ぶ市長選挙は4月25日に投票が行われ、竹内司前蒲郡町長が当選しました。

竹内市長は、『観光都市実現』と、『産業都市建設』を新しい市の方針として掲げ、就任あいさつの中で、「市域全体にわたる天与の景観を活かし、海と山の施設を充実し、名実共に観光都市の完成に尽くす」と観光に重点を置いた施政方針を述べています。

30年代に入ると、旅行ブームを

背景として、積極的に観光開発に取り組み、海・山・温泉といったすぐれた観光資源を活かすための観光施設づくりが進められました。32年に三ヶ根山ロープウェイ、33年には弘法山ロープウェイが完成しました。

また、昭和27年蒲郡町時代に始まった競艇場設置の動きは、さまざまな問題を抱えながらも、30年3月蒲郡競艇場として誕生し、8月に念願の初レースが開催されました。

温泉の開発や、竹島水族館、海水浴施設等の観光施設の充実の他に、水不足に悩む蒲郡に宇連ダムの水を引くようにしたこと、大塚村の合併を実現したこと、港の整備、区画整理の認可、教育・福祉施設の充実、公営住宅の建設、繊維産業の振興など、数々の功績が挙げられます。

竹内市長は一期（4年）で退任されましたが、その間、全力で蒲郡市の基盤づくりに専念されました。



仮庁舎に掲げられる蒲郡市役所の看板



見上げてごらん♪ 夜の星を…

★天の輝きはすべて謎

夜空には、謎がいっぱいです。この時期、牡羊座のあたりに赤く輝いているのは火星です。「火星にはかつて海があったのか？」その謎の答えを探して、探査ロボットのキュリオシティが現在も活動中です。地平線近くに微かに見えるパンスターズ彗星は、「太陽系はどうやってできたの？」という謎の答えを秘めた、およそ46億年前の生き（？）証人です。ひとときわ明るい木星の周りをめぐる、衛星エウロパ。「地球以外にも生命はいるのか？」という謎に挑む、多くの科学者が注目しています。

夜空は、宇宙への入り口です。寝転がって見上げれば、探査機

やさまざまな望遠鏡を駆使して、世界の科学者が今まさに取り組んでいる謎が、目の前で輝いているのです。

★ISTSフェスティバルin東三河
今年6月、「第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）」が名古屋市中で開催されます。学術シンポジウムが中心ですが、子どもや一般を対象に、宇宙飛行士の講演会やJAXAによる宇宙授業なども行われます。「ISTSフェスティバルin東三河」も計画されており、豊橋市を中心に「小惑星探査機はやぶさ」に関する講演会や上映会などが開催されます。生命の海科学館でも、JAXAや名古屋大学、愛知工科大学などに協力をいただき、宇宙イベントを開催します。

この機会に、夜空を見上げてみませんか？最も身近な異世界が、そこに広がっているのです。



Image: AstronomyEducationServices
GinginObservatory
©2011 L4PAN STARRS
3月に太陽に最接近したパンスターズ彗星。地球はなぜ、生命あふれる海をもつ奇跡の惑星となったのか？ 実はこの謎を解く手がかりの1つが、彗星だと考えられています。